

英文学科生の 留学について

2022年5月

英文学科主任
田中 貴子

1

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ここで紹介する留学プログラムは、延期・キャンセル等の対象となる場合があります。ご了承ください。

2

1

2

留学の種類

I. 在学留学 → 4年で卒業可能

- ① 協定大学への派遣留学(1年間または1 Semester)
- ② 履修科目による留学
 - ・ セメスタープログラム(全学主催)
 - ・ サマープログラム(全学主催)
 - ・ スプリングプログラム(全学主催)
- ③ 認定留学
 - ・ 英文学科主催セメスタープログラム
 - ・ 個人手配による在学留学

II. 休学留学 → 4年で卒業できません

3

I. 在学留学

在学留学とは？

- ・ 同志社大学に在学しながら留学すること。
- ・ 留学期間は同志社大学での修業年限(4年間)および在学年限(最長8年間)に算入される。
- ・ 留学先で取得した単位については、単位認定を願い出ることが可能。(※履修科目による留学を除く)

❖ 在学留学の場合、4年間で同志社大学を卒業することも可能。(4年間で卒業できない場合もあり。)

4

3

4

I. 在学留学

① 派遣留学

- 同志社大学は35カ国以上、約170大学と学生交換協定を締結しています。

② 履修科目による留学(全学主催)

❖ サマープログラムやスプリングプログラム

(全学共通教養科目の事前授業と2~4週間の現地研修)

❖ セメスタープログラム

(全学共通教養科目の事前授業と秋学期約4ヶ月の現地での英語研修)

5

5

I. 在学留学

③ 認定留学

■英文学科主催のセメスタープログラム(カナダのセント・メアリーズ大学)

- 秋学期4か月間
- 英文学科が認定留学の手続き

■個人手配の認定留学

- 自ら選択、出願した大学や大学付属の語学学校などから入学許可を受ける。
- その留学を所属学部にて在学留学として認定してもらうよう申請。
- 期間は原則として3ヶ月以上。

6

6

I. 在学留学

授業料について

• 「派遣留学」

原則として同志社大学に通常通り授業料を支払うのみで、留学先大学の授業料を支払う必要がありません。

• 「履修科目による留学」「英文学科主催セメスタープログラム」「個人手配による認定留学」

同志社に授業料を支払い、なおかつ留学先大学の授業料が自己負担となります。

7

7

I. 在学留学

- 「派遣留学」には本学の奨学金制度があります。
- 「履修科目による留学」「英文学科セメスタープログラム」「個人手配の認定留学」にも本学の奨学金が支給されません。
- 詳しくは各留学プログラムの説明会、国際課HP、国際課が発行している『海外留学マニュアル』などで確認すること。

8

8

II. 休学留学

- 自ら留学先を決定し、通常、半年間あるいは1年間休学をして留学することです。
- 休学期間は**修業年限には算入されません**。
- 留学先で取得した**単位を認定はできません**。
- 留学先大学の授業料は**自己負担**となります。
- 休学中の同志社大学への納付費用は、「**休学在籍料**」(半年で6万円、1年で12万円)のみで**授業料等は免除**されます。

❖ 休学留学の場合、4年間で同志社大学を卒業することはできません。

9

9

英文学科セメスタープログラム

セント・メアリーズ大学 (SMU)

- 英文学科主催の留学プログラム
- 対象は**英文学科生のみ**
- カナダ東部のハリファックスにある**セント・メアリーズ大学 (SMU)**の協力の下、2012年度より実施。
- 出願資格: **TOEFL ITP® 500点以上**(過去2年以内)などを取得。(TOEFL-iBT®, IELTSでも出願可。)
- 資格条件の詳細は、本プログラム説明会(秋学期に実施)にて確認してください。

10

10

英文学科セメスタープログラム

セント・メアリーズ大学 (SMU)

- 8月後半頃から12月後半頃までの**1セメスター(約4ヶ月)**
- SMUが提供する**University Bridging Program**に参加
- **ホームステイ**
- 英語研修に加え、**大学の正課科目を1科目履修**(TOEFL ITP®が533点以上などの場合には、2科目履修可。)
- 留学生対象の**語学研修だけでなく、現地学生と共に正課科目履修**することで、英語の運用能力向上を目指す

11

11

英文学科セメスタープログラム

セント・メアリーズ大学 (SMU)

- 出願時期はプログラム催行の前年度の**秋学期後半**。
- 興味のある人は毎年秋学期に行われる**説明会**に参加してください。

❖ 説明会、応募、選考の日程や詳細に関しては、文学部ホームページに掲示されます。

12

12

外国協定大学派遣留学生制度

■Go Global ポートフォリオにログインして、派遣留学に関する**解説動画**を視聴しておくこと。

シングルサインオン → Go Global ポートフォリオ
→ お知らせ → 留学関連動画(留学LearningWeek用)
→「2. 派遣留学募集説明会」

■国際課発行の『海外留学マニュアル』も熟読のこと。国際課HPよりダウンロード可

■派遣留学の詳細についてわかりやすく説明されている。

13

13

外国協定大学派遣留学生制度

A日程(春学期に募集)

- オーストラリア、ニュージーランド、韓国、アルゼンチン、チリなど
- 同志社の学年暦と合うため、3年次に1年間留学しても、帰国後就職活動がしやすい

B日程(秋学期に募集)

- アメリカ、イギリス、カナダなどの英語圏
- 英語圏外の大学でも英語で授業を受けることができる大学がある。
- 第2外国語を中心に考えることも可能(ドイツ、フランス、スペインなど)

WEB出願と書類出願の両方が必要。

14

14

外国協定大学派遣留学生制度

2023-2024 年度 同志社大学外国協定大学 派遣留学生制度募集要項

	学内語学能力試験 受験申請受付期間	WEB 出願	書類出願
A 日程	5月16日(月)9:00:00 ～ 5月18日(水)11:00:00	6月6日(月)9:00:00 ～ 6月8日(水)11:00:00	6月13日(月)9:00:00 ～ 6月14日(火)17:00:00
B 日程	10月11日(火)9:00:00 ～ 10月13日(木)11:00:00	10月28日(金)9:00:00 ～ 11月1日(火)11:00:00	11月8日(火)9:00:00 ～ 11月10日(木)17:00:00

出願期間

※ 「書類出願」受付時間は、9:00～11:30、12:30～17:00とする。土・日・祝日・大学休日は受け付けない。窓口での書類出願を希望する場合、各日程の書類出願期間中に国際課窓口にて書類一式を提出すること。郵送での書類出願を希望する場合、各日程の最終日までに必着するよう手配すること(レターパックや簡易書留など発送記録が残る方法で郵送すること)。なお書類出願期間より先に郵送手配しても構わない。

15

15

外国協定大学派遣留学生制度

海外留学



- 外国留学プログラム
- 留学準備
- 留学のための奨学金制度
- その他・語学力向上等(TOEIC他)



応募の詳細は国際課HPで『派遣留学募集要項』を確認すること

16

16

出願に関する注意事項

選考では、

- ① 学業成績(GPA)
- ② 語学力(語学スコア)
- ③ 面接

の3つの要素を総合的に評価します。

- ❖ A日程、B日程とも原則として第7希望まで出すことができます。
- ❖ 語学スコア(TOEFL iBT®、TOEFL ITP®、IELTS)は各大学が要求する点数を獲得しておく必要があります。

17

17

TOEFL iBT®とIELTSの費用補助について

- 同志社大学英文学会は、2022年度にみなさんが受験したTOEFL iBT®およびIELTSの受験料の一部を補助します。
- 詳細は、7月中旬以降、同志社大学英文学会の掲示版(徳照館1階)にて確認してください。

18

18

出願に関する注意事項

- ◆ 志望理由は単に「英語力を向上させたい、英語が流暢に話せるようになりたい」ではなく、具体的に専門性を中心に書くこと
- ◆ 志願する大学のプログラムや授業、シラバスなどについてインターネットやパンフレットなどで必ず調べておくこと
- ◆ 近年、TOEFL ITP®ではなく、TOEFL iBT®やIELTSなどのスコアが求められる大学も見られます。
- ◆ 推薦状は、必ずアドバイザーの先生に依頼しましょう。

留学前後、留学中もアドバイザーに相談しながら、無理のない留学計画を立てましょう。

19

19

面接の注意事項①

- 申請書類に書いてある志望理由に関する質問があるので、丁寧に答えることができるように準備しておくこと。(履修したい科目名、教員名、授業内容、自分の専門分野との関連など)
- 志望する大学が複数の場合、全てについて志望理由を説明できるように準備しましょう。

面接の事前準備も怠らずに、しっかりと！

20

20

面接の注意事項②

- 同志社大学の代表としていくため、どのような人物であるかもみられます。
 - ・自己管理能力
 - ・クラブ活動やボランティア活動
 - ・最近の関心事など
- 留学先での困難対処法、何らかの苦難が生じた場合、どのように乗り越えるのかについても、考えましょう。
- 同志社大学での専門分野や卒業論文について、また、留学が自分の卒業後のキャリアにどう生かされるのかといった将来的展望についても考えておいてください。

面接の事前準備も怠らずに、しっかりと！

21

21

英文学科のカリキュラムと留学

留学中に履修できない科目は...

1. 語学必修科目やゼミなど、帰国後に単位を認定できる場合があります。
2. 留学前から選択科目に関しては計画的に履修することで、帰国後スムーズに大学生活が送れます。
3. 単位認定を望む場合は留学前に留学先のクラスに関する情報を得ておきましょう。
4. 単位認定や帰国後の履修に関しては、留学前に確約することはできません。また留学先で履修した科目が、全て単位認定できるとは限りません。

❖ Junior Seminar、Senior Seminarは、原則として帰国後同じクラスに戻るようになります。

22

22

単位認定を希望する科目についての注意

- ・英文学科の該当する科目と内容が類似していること
- ・ゼミの場合でも、例えば英米文学、言語学、英語学、英語教育など大きな枠で可能です
- ・英文学科の該当科目とレベル(履修年次2年次、3年次など)がほぼ同じであること
- ・クラスサイズが同じであること(少人数か大教室の講義形式か)
- ・一学期の授業時間が同志社大学の90分×15回と同じかそれ以上であること
- ・課題が類似していること(ペーパーの語数、口頭発表など)

条件を満たしていない場合には、申請しても単位認定ができないことがあります。

23

23

単位認定科目の内容

- ・ゼミの単位認定は専門性、クラスが少人数であったかどうか、口頭発表があったか、英文ペーパーを提出したかなどを中心に判断。
- ・特論、Sociocultural Topics、Media in Englishなどでも、条件が合えば、単位認定が可能。
- ・英文学科の専門科目以外の、全学共通教養科目や外国語の科目として認定可能な場合もあり。
- ・ただし、教職関係の科目は不可(文部科学省の方針)。

申請しても、単位認定ができないことがありますので、申請時に諸条件につき、確認してください。

24

24

帰国後の単位認定に関する注意

- 認定書類は良心館教務センター(文学部事務室)に提出してください。
- 認定はその年度の学科主任が行います。
- 認定途中で、補足資料が必要な場合は、良心館教務事務室(文学部)を通じて連絡しますので、迅速に行動してください。

帰国後は、所属学部等、必要な当該部署、そしてゼミの先生にも、帰国報告しましょう。

25

25

帰国後の単位認定に関する注意

- 認定書類は文学部事務室に**自分で持参**すること(e-mailや郵送で送っていただくことは原則として認められません)
- 必要提出物をすべて揃えて提出すること
 - A. シラバス
 - B. 成績表
 - C. 提出したペーパーなど
 - D. 授業で使った教科書や課題として提出したもの、授業で使ったノートなど特にゼミの認定には、C、Dが必要。
先方大学の授業の内容や課題が分かる資料は、すべて提出。

留学先の大学授業で参照・使用した全ての資料を保管しておきましょう。

26

26

帰国後の登録相談

- ❖ 帰国後、当該学期の登録相談期間中に、英文学科の登録相談に来て下さい。
- ❖ **必修科目の履修**に際しては、学科主任の**登録許可が必要**(自分で、勝手にDUET(Web)から好きな必修クラスを登録することはできません)。
- ❖ 選択科目などは卒業に必要な科目をDUETより自分で登録してください。
- ❖ 登録については、締め切りまでに必ず各自の責任で行ってください。(締め切りを過ぎるとDUETからの入力ができなくなります。)
- ❖ 在学留学の場合には、先行登録もDUETから可能なため各自行って下さい。
- ❖ 帰国後の同志社での授業履修が円滑に再開できるように、授業開始前までに、登録等手続きはきちんと完了してください。

❖ 留学前と留学後の英文学科の授業が変わっていることがありますので、注意してください。

27

27

留学中のゼミ予備登録

- 在学留学の場合
 - 留学中であっても海外から、DUETでJunior Seminar、基礎演習の予備登録ができます。同志社大学文学部のホームページを頻りにチェックし適切に予備登録を行って下さい。また、大学からのお知らせやメール・アドレスも必ずチェックしてください。
 - 基礎演習は帰国後同じクラスに戻ることは確約されていません。
 - Junior Seminar、Senior Seminarは、原則として帰国後同じクラスに戻るようになります。

留学前後には、ゼミ担当者に対し、必ず留学・帰国の報告連絡をして下さい。卒業論文の執筆指導も含め、ゼミ担当者によく相談をして、計画的に履修を進めていきましょう。

28

28

おわりに

- 協定校派遣留学、履修科目によるサマープログラム・スプリングプログラム・セメスタープログラム → 国際課HPおよびGo Global ポートフォリオ
- 英文学科主催のセメスタープログラム → 文学部HP(秋学期に)
- 本動画に関する一般的な質問 → 英文学科主任(田中貴子)
taktanak@mail.doshisha.ac.jp

29